



ことばの教室だより

白岡市立篠津小学校
令和5年度2月号

今年度は12月21日に難聴グループ学習会、1月10日に吃音グループ学習会を行いました。行動等の制限が緩和され、子供たちはみんなでゲームをしたり、保護者は集まっておしゃべりしたりすることができました。同じ思いや悩みをもつ仲間だからこそ、分かり合える安心感を味わうことができたのではないのでしょうか。どちらの会も穏やかな雰囲気の中で楽しむことができ、心に響くお話をたくさん聞くことができてよかったです。

★難聴グループ学習会★

2年ぶりとなった難聴グループ学習会は、前回と同じメンバーだったので久しぶりの再会となり、お互いの近況や成長の様子を伝え合って、楽しい雰囲気でスタートしました。

通級児童は「難聴あるある」を話し合いました。授業中に補聴器の電池が切れてしまった時のことや友達とのおしゃべりなど、「そうそう！同じ」と声があがって盛り上がりました。逆に、きこえは人によって違うので、「私の場合は…」とそれぞれのきこえの違いを知る機会にもなりました。

保護者は、ことばの教室を卒業した大学生に来ていただき、お話をしてもらいました。小中学校時代は難聴を気にすることなく楽しく過ごしていたこと、高校入学と同時にコロナ禍となりコミュニケーションが難しくなって悩んだこと、今は大学生活を楽しんでいることなど、大変な時期をどう乗り越えてきて今につながっているのか、貴重な経験談を聞くことができました。質問などを交えながらのお話はあっという間に時間が過ぎてしまいました。

保護者の感想

- Aさんの話はリアルな体験談で何よりも心に響いてきました。悩んだ時期を踏み台にして、さらにパワーアップして、まさに今キラキラに輝いているAさんは素敵でした。
- 良い意味でも悪い意味でもやっぱり人間関係が1番の肝だと改めて思いました。
- 英検を受けたりバイトをしたり、Aさんの向上心ややる気のあり方は本当に感動しました。
- コロナ禍で友達と上手くいかなかった時の彼女の言葉で「誰も悪くなかった。とにかく環境がよくなかった」とありました。難聴者にとってマスク生活がどれだけ負担になっていたのかを再認識させられました。
- この先成長していく我が子に対して、どのような気持ちで受け止め、サポートをしていったらよいか、ヒントをいただけたように思います。

話し合いの記録

うれしかったこと

- ①「マスクをはずしてください」と伝えられずにやってください。
- ③ 友達がジェスチャーをいれて話してくれる。

友達とのおしゃべり

- ① 下校中、横並びになるときこえにくい。わがままなつもう一度きく。
- ③ 丸くなって話すと、顔が見えてわかりやすい。
- ④ 顔が見えるよう、となりへ行く

★吃音グループ学習会★

今回は12組の親子に参加していただき、にぎやかに開催することができました。吃音のある人は自己紹介が苦手な場合が多いですが、温かな雰囲気の中で、自分なりのやりやすい方法を選んで、みんな自己紹介をすることができました。

通級児童は昔遊びに挑戦しました。駒回しやけん玉を教え合いしていく中で、少しずつ打ち解けていきました。学校や学年に関係なく、仲良く交流することができてよかったです。その後「話しやすくするための工夫」を話し合いました。

保護者は、初めて参加した低学年児童の保護者が多かったので、卒業生や高学年児童の保護者からお話を聞く時間を多く取りました。吃音に対するお子さんの様子や小学校卒業後の吃音の悩みなど、いろんな経験談を聞くことができました。

最後に参加した中高校生に吃音のことを話してもらいました。小学生では自分の吃音のことをうまく説明できない子が多いので、自分の言葉で吃音のことを語ってくれる卒業生の立派な姿に成長を感じることができました。

児童の感想

- いつもと違う友達といろんな会話ができて楽しかった。
- 一番楽しかったことは、お兄さんがウノで遊んでくれたことです。
- 吃音の人が思ったよりたくさんいて、歳が離れていたけど、それぞれの吃音のためのワザをたくさん聞けて、勉強になりました。
- これからいろんな人としゃべっていきたいと思います。

保護者の感想

- これから先トラブルが起こった時の参考にさせていただきたいこと、もっと話を聞きたいと思うことがたくさんありました。
- 吃音に対する子供たち自身の受け止め方にも個性があり、その子の気持ちに寄り添ったケアが必要であることを強く感じました。
- 同じ悩みをもつお母さんたちと話し合えて、すごく嬉しかったです。

篠津小学校ことばの教室
吃音グループ学習会
篠津ニューイヤーパーティー

ねらい

- ・ことばの教室に関わる児童や保護者の交流と情報交換を通して、当事者同士の仲間意識を高め、心理的安定を図る。
- ・専門家による講話やことばの教室を卒業した中高生の体験談を聞くことにより、吃音と適切に向かい合い、吃音や将来の不安などを軽減する。

日時・場所

令和6年1月10日（水）14:00～16:30 篠津小学校ことばの教室

参加者

- ・通級児童、相談対応児童、ことばの教室卒業生とその保護者
- ・指導者 西田先生
- ・ことばの教室担当 石塚

内容

- ①自己紹介（個別の自己紹介ゲーム、全体で自己紹介）
- ②児童…レクゲーム 吃音かるた
- 保護者…事前アンケートをもとに話し合い 情報交換
- ③感想発表
- ④西田先生のお話

持ち物

- ・上履き
- ・筆記用具
- ・飲み物

その他

- ・連絡先 篠津小学校ことばの教室 0480-91-0017
- 白岡市立篠津小学校 0480-92-1503

仲間とたくさんおしゃべりして楽しく過ごしましょう



卒業生や先輩ママさんのお話から学ぶことが本当にたくさんあり、同じ境遇の仲間、縦のつながりの大切さを実感した会となりました。参加してくださったみなさま、ありがとうございました。今後の指導に生かしていきたいと思います。

相談は随時受け付けています！

白岡市教育委員会
0480-92-1111（代表）
篠津小学校ことばの教室
0480-91-0017（直通）